

授業プラン 「100cmをこえる長さ」(総時数6時間)

日時	1	2	3	4	5(本時)	6
主眼	両手を広げた長さを実際に測る活動を通して、100cmをこえる長さの別の表し方を調べるという課題をつかむことができる。	長さの単位mを知り、1mの単位のよさに気付き、その意味、読み方、書き方について知り、1mの量感をつかむことができる。	・1mのものさしで1mをこえるものの長さを見当をつけて測ることができる。	見当をつけて1mの長さを作ったり、実測してmの紙テープものさしを作ったりすることでmの長さの量感をつかむことができる。	・「長さを測る」活動や「長さを使った問題」に挑戦することを通じ、測る技能を高め、長さの単位に対する感覚を磨く。	単元末テストや、単元全体のふり返りカードを書き、学習全体について、自己評価することができる。
言平面	(関)・100cmをこえる長さを測るには、100cmのさしで測ると便利であることに気付く。 ・100cmのさしで両手を広げた長さを測ることができる。	(知)・mという単位を知り、mとcmの相互の関係がわかる。 ・自分の体で1mの量感をつかむことができる。	(関・表)・1mものさしで、身近なものの長さを予想して測ることができる。	(関・表) ・1mの長さを見当をつけて作ることができる。 ・工夫して紙テープものさしを作ることができる。	(関・表知・理) ・身の回りのものを適当なものさしを選んで測ることができる。 ・長さを使った問題(単位選択・長さ比べ・長さの計算等)を解くことができる。	(関・知・考・表) 単元末テストや、単元全体のふり返りカードを書き、学習全体について、自己評価することができる。
学習課題	・30cmのさしで、自分の体の長さを測ろう。	・100cmをこえる長さの別の表し方について調べよう。	1mのものさしで、いろいろなものの長さを測ろう。	・1mの長さを予想して作ろう。 ・mのテープものさしを作ろう。	・身近なものの長さをどんどん測れるようになろう。 ・長さを使った問題を解けるようになろう。	・力試しをしよう。 ・長さの学習をふり返ってまとめよう。
学習活動	「かい けつ ゾロリ」といっしょに「ものさしはかせ」になろう。			チャレンジタイム		
	自分の体のものさしを調べよう。 T ひろ・両手を広げた長さは、何cmだろう。 私のひろは、30cm。 ものさし4つ分で 30+30+30+30で、 120cm	100cmをこえる長さをもっと大きな単位で表せないだろうか。 T 100cmは1mでも、あらわされるよ。 ・読み方・書き方を調べ練習しよう。 1m(1メートル) ・練習する。 1m = 100cm 大きい目盛りは、10cm 小さい目盛りは、1cm 120cmは、1m 20cm	この1mものさしで、いろいろな物を測ろう。 T 測りたい物を考えよう。 ・机の縦・横の長さ ・窓の縦・横 ・黒板の縦・横 T 測りたい物の長さを予想しよう。 自分の体のものさしをもとに考えるといいわね。	1mの長さを予想して紙テープで作ろう。 ・わたしは、自分の体のものさしで予想して作ってみよう。 ・1mのさしで、実際に測ってみよう。 ・1mに一番近かったさんに、どんな風に予想したか聞いてみよう。 実際に測って自分だけのテープものさし(1m)を作ってみよう。 ・10cm目盛りを打ってみよう。 ・1cm目盛りは大変だけど、詳しく測れるね。	はかりっこカードを使って身近なものの長さを測ってくらべよう。 ・測る場所(教室周辺) 1どちらが長いかを予想しよう。 2測るものに合わせてものさしを選ぼう。 3実際に測ってみよう。 4どっちが長いかみんなで確かめよう。 チャレンジ問題	単元末テストをする。 単元末テストや事後テストをし、事前テストと比較して、「つまずきファイル」で個と全体の習熟の様子を分析し、まだ定着できていない子どもについては、ドリルタイムで補充していく。
	手や足の長さは、測りやすいけど、30cmのさしでは、何個もいるから測るのが、面倒だね。 それに、正確に測りにくいよ。 長い物でも、もっと測りやすいものさしはないかなあ。	109cmは1m 9cm 130cmは1m 30cm 116cmは1m 16cm チャレンジ問題 cm m cm m cm m cm cm T 1mは、自分の体のどれくらい? ・あごまでぐらいい ・鼻まで ・首まで この1mものさしで もっといろんな物を測りたいなあ。	1mものさしでたりないのは、30cmのさしで継ぎ足して測ってみよう。 あ、予想が当たった。 1m 10cmぴったりだ。	1mの長さを予想して紙テープで作ろう。 ・ぼくは、窓の横幅で予想を立ててみよう。 ・1mのさしで、実際に測ってみよう。 ・1mに一番近かったさんに、どんな風に予想したか聞いてみよう。 実際に測って自分だけのテープものさし(1m・2m・3m)を工夫して作ってみよう。 ・1m 2m 3mの目盛り ・10cm単位の印 ・1cm単位の目盛り	体育の時に使う器具の長さ比べをし、違いを調べよう。 ・測る場所(体育館) 1 どっちがどれだけ高いか予想しよう。 2 5段と9段の跳び箱の高さを測ろう。 3 高さ比べの式を考えて解こう。 T 長さの計算は、どうすればいいのかな。 4 解き方を考えて交流しよう。 5 問題を自己選択して、自分で長さを測って長さ違いを調べよう。 チャレンジ問題	単元全体のふり返りカードを書いて、発表し、感想を共有し合う。 ぼくは、どんなときに、mやcmやmmを使っていったらいいかわかるようになったよ。
	100cmのさしを使うと便利だね。	cm m cm m cm m cm cm T 1mは、自分の体のどれくらい? ・あごまでぐらいい ・鼻まで ・首まで この1mものさしで もっといろんな物を測りたいなあ。	自己診断テスト 習熟度別のコース選択	1mの長さを予想して紙テープで作ろう。 ・ぼくは、窓の横幅で予想を立ててみよう。 ・1mのさしで、実際に測ってみよう。 ・1mに一番近かったさんに、どんな風に予想したか聞いてみよう。 実際に測って自分だけのテープものさし(1m・2m・3m)を工夫して作ってみよう。 ・1m 2m 3mの目盛り ・10cm単位の印 ・1cm単位の目盛り	体育の時に使う器具の長さ比べをし、違いを調べよう。 ・測る場所(体育館) 1 どっちがどれだけ高いか予想しよう。 2 5段と9段の跳び箱の高さを測ろう。 3 高さ比べの式を考えて解こう。 T 長さの計算は、どうすればいいのかな。 4 解き方を考えて交流しよう。 5 問題を自己選択して、自分で長さを測って長さ違いを調べよう。 チャレンジ問題	ちょっとの長さや詳しい長さは、mmを使うと便利ね。
	100cmをこえる長さの表し方について調べよう。					測る物で、いろんなものさしを使い分けることができるようになったわ。
工夫点	一斉+TT 評価カード・ ふり返りカード	均等2分割の少人数学習 評価カード ふり返りカード	均等2分割の少人数学習 評価カード・自己診断テスト ふり返りカード	自己選択による習熟度別学習・ 評価カード・ふり返りカード 自作のテープものさし	自己選択による習熟度別学習 評価カード ふり返りカード	一斉+TT・ 評価カード 単元末のふり返りカード
の視点児へ	A B C 自分の両手を広げた長さを測る活動を通して、100cmをこえる長さを測ることへの興味・関心を高める。	B C m・cmの関係を、ものさしを使ってつかませ、cmをm cmに直せるように支援する。 A 単位換算の習得を測る。 cm m m cm cm	B C ものさしの置き方、目盛りの読み方が正確にできるように支援する。Aはかる前の予想を大切にし、mの量感をつかませる。	B C 長さの感覚をできるだけ体験的につかませていく。 A 自分の作りたい長さのテープものさしを正確に作らせる。	A B C 自己選択による習熟度別学習であるが、習熟の度合いに応じた個別の支援をしていく。	A B C ふり返りカードの感想を発表させ達成感を共有させる。